

患話休題

かんわきゅうだい

29



院長
真崎 雅和

「目まい」がするとは？

患者さんがいらして「目まいがする」と訴えられます。具体的な状態を問いますと、「目まいは目まいだ！あるいは秋田弁でうるうるする」と答えられます。こちらとしては何となくわかるような、わからないような曖昧な訴えです。目まいとはいったい何でしょうか。

わたしたちは立つときや歩いているとき、意識してバランスを取ろうとはしません。重い頭を一番上につけて、細い2足脚で立っている極めて不安定なバランスを無意識のうちに調節しているのです。重心を安定的な位置に保つように足の筋肉や体幹の筋肉をうまく伸ばしたり縮めたりしています。無意識にというのは、大脳の指令で筋肉を動かしているのではないということ意味します。体のバランスは、位置の情報(入力)を集めて試行錯誤の上「小脳」というところで学習して記憶し、程よい筋肉の収縮情報出力を反射的に筋肉群に送ることによって成り立ちます。試行錯誤とは、単純な姿勢制御や歩行なら、「はいはい」「よちよち歩き」から、だんだんうまく歩けるようになる過程のことです。体操や野球、その他特殊な動きも、練習という試行錯誤を経て無意識に動けるようになるのです。姿勢の制御の中核は小脳にあり、小脳は常に学習して常に反射様式を最高のものに保とうとします。

では入力位置情報で重要なものは何でしょうか。



地面に接触する足の圧力が重要でしょう。でもジャンプをしたときは足に受ける重力の情報はありませんが、うまくバランスが保てます。重要なのは足の裏の感覚ではなく重い頭の位置の情報なのです。頭の位置を感じし、重い頭が落ちないように体をひねったり曲げたりしてバランスを保つわけです。では頭の位置情報はどこで得られるのでしょうか？それは第一に内耳にある前庭器官であり、補佐的には頭が体につながる頸椎にあります。

内耳には頭の位置⇨重力(前後・左右)を感じする耳石(卵・円形囊)と、回転(加速度)を感じする半規管があります。半規管は三次元を感じできるように前・後・水平の3つに分かれており三半規管とも呼ばれています。つまり内耳は頭の位置と動きを知らせる器官です。

目まいとは、実際は正しいバランスを保っているのに、入力(足の深部知覚、内耳、頸椎)が誤った情報を伝えるので、小脳が慌て、意識的な制御をするよう大脳に伝える感覚の自覚ではないかと考えられています。多くの救急で、目まいがしたときは、頭のCTとMRIを撮りますが、それで目まいが診断された例は当然のことながらありません。

診察時間が近づいたことをお知らせする

メールサービスを
約30分前

ご利用ください。ご希望の方はメルアドを受付へ!!



急患 随時受付

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休診
午後 3:00~6:30	○	○	○	休診	○	△ 3:00~4:00	休診

真崎耳鼻咽喉科医院

TEL.018-845-0234 FAX.018-847-1321 秋田市土崎港中央6-8-3